

第IV章 大学と将来



1. 大学の効用

私立大学生はキャンパスライフ、
国立大学生は卒業後の生活を期待し
ている者が多い

大学生たちは現在通っている大学が、自分にとってどのような意味を持つと考えているのだろうか。表23は、「あなたは、今の大学を卒業すると、どんな面で得をしますか」という質問に対する回答結果である。

「とても」から「ややそう思う」までの合計を見ると、「楽しい大学生活を送れることが一生のよい思い出になると思う」(82%)、「一生つきあっていける友人を何人か持てるように思う」(77%)が、他の項目を大きく引き離している。学業以外のいわゆる「キャンパスライフ」の充実に高い価値を認めていると言

えよう。

「今の大学を出ると、世間から尊敬してもらえる」(51%)、「最高水準の勉強ができるので、知識が社会に出て役立つ」(50%)といった学業面での水準の高さに関する項目、さらに「よい先輩が多いから、助けてくれる」(47%)、「一生の何かの折に、先生方が相談相手になってくれる」(39%)などの「タテのつながり」を評価する項目が、これらに次いでいる。堅苦しいイメージを持つ「人格形成」

や、消極的な雰囲気を感じさせる「のんびり」といった言葉は、学生たちにはあまりうけないようである。

これらの調査結果は、まず第1に交友関係を含めて学生生活の充実を楽しみ、そのうえで勉強もほどほどに行い、あわよくば先輩や教師などうまく利用できるタテのつながりを持ちたい、という現代学生気質をよく表しているように思われる。

こうした「大学の効用」に対する認識は、大

表23 大学の効用

(%)

	とても そう思う	かなり そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	あまり そう 思わない	ぜんぜん そう 思わない
楽しい大学生活を送ることが、一生のよい思い出になると思う	25.4	30.6	26.0	6.8	7.5	3.7
	82.0			18.0		
一生つきあっていける友人を何人か持てるように思う	18.1	29.5	29.2	9.6	8.5	5.1
	76.8			23.2		
今の大学を出ると、世間の人から多少尊敬してもらえると思う	3.7	10.4	36.7	16.1	21.4	11.7
	50.8			49.2		
最高水準の勉強ができるので、その知識が社会に出て役立つと思う	6.8	17.4	26.2	18.5	20.9	10.2
	50.4			49.6		
よい先輩が多いから、仕事の面できっと助けてくれると思う	4.1	14.0	28.9	16.6	23.6	12.8
	47.0			53.0		
一生の何かの折に、先生方が相談相手になってくれると思う	4.4	10.1	24.5	19.3	25.2	16.5
	39.0			61.0		
今の大学のスクールカラーが身について、自分の人格形成にプラスになると思う	4.3	10.6	23.2	21.5	24.2	16.2
	38.1			61.9		
勉強はともかく、4年間のんびり過ごせることだけで充分だと思う	4.8	10.7	18.1	19.5	24.3	22.6
	33.6			66.4		

学の種類によっていくぶん異なっている。図17は、調査対象の学生の内、国立4年制大学と私立4年制大学に属する者のみを取り出して、各項目について「とてもそう思う」「かなりそう思う」の合計値を示したものである。

私立4年制大学の方が高い割合を示している項目は、「楽しい大学生活を送れることが一生のよい思い出になる」「今の大学のスクールカラーが身について、人格形成にプラスになる」など、逆に国立4年制大学では「今の大学を出ると、世間から尊敬してもらえる」などが高くなっている。私立はキャンパスライフ、国立は学業的側面に、それぞれ効用が

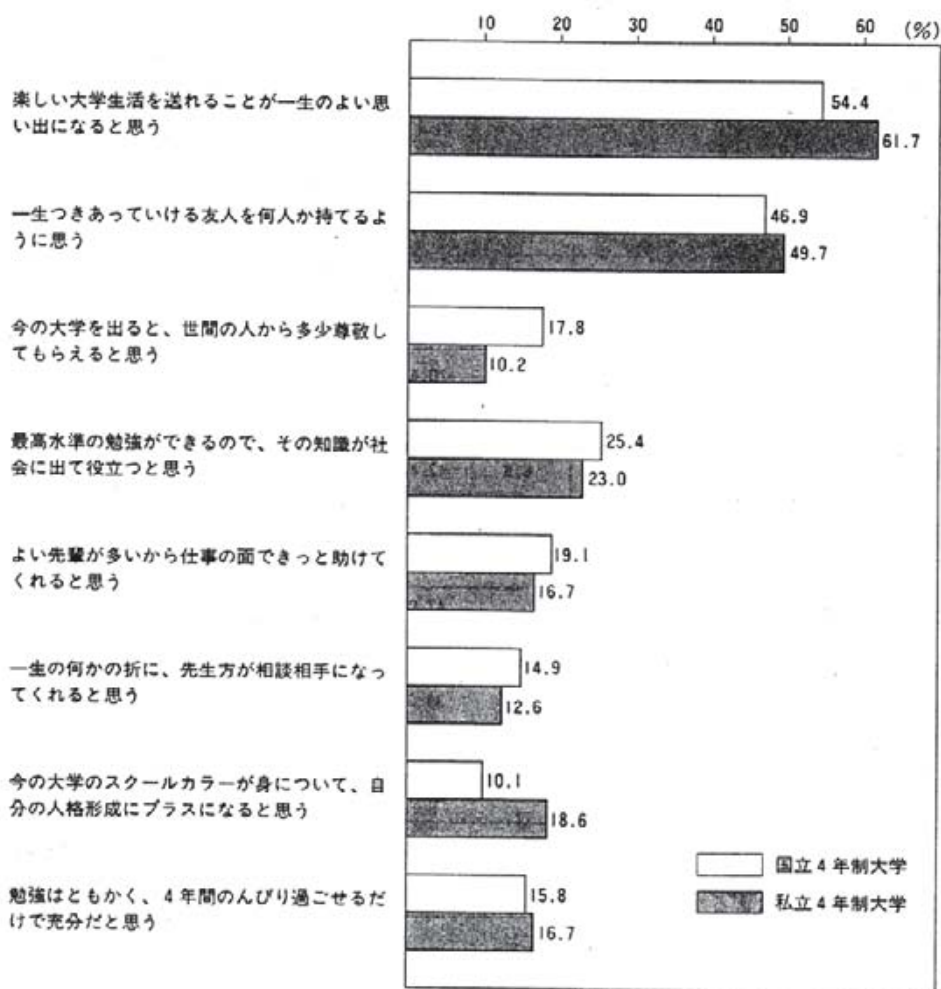
認められているようである。

また大学のスクールカラーに対する評価が私立大学において高いことは、大学の独自性を求める気持ちが私立大生の間で強いことの表れでもある。個性ある教育と学生生活を提供することが、私立大学に求められていると言えよう。

前章では、高校生活の過ごし方が入学後の大学への満足度に影響していることを示した。ここではさらに、大学への現在の満足度が、大学の効用に対する認識にどの程度影響するかを調べてみよう。

図18-(a)によれば、「今の大学を出ると世

図17 大学の効用(国立4年制、私立4年制)



(「とてもそう思う」と「かなりそう思う」の合計)

間の人から多少尊敬してもらえる」と「とても」あるいは「かなり」思う者は、大学への満足度が高い学生に多く、「あまり」あるいは「ぜんぜん」思わない者は、大学への満足度が低い者に多い。大学への満足度と、「勉強はともかく4年間のんびり過ごせる」を除く大学の効用に対する認識についての他の項目の関係についても同様の傾向が見られる。したがって、大学への満足度が高いほど、卒業後の効用が大きいと考えていると言えよう。

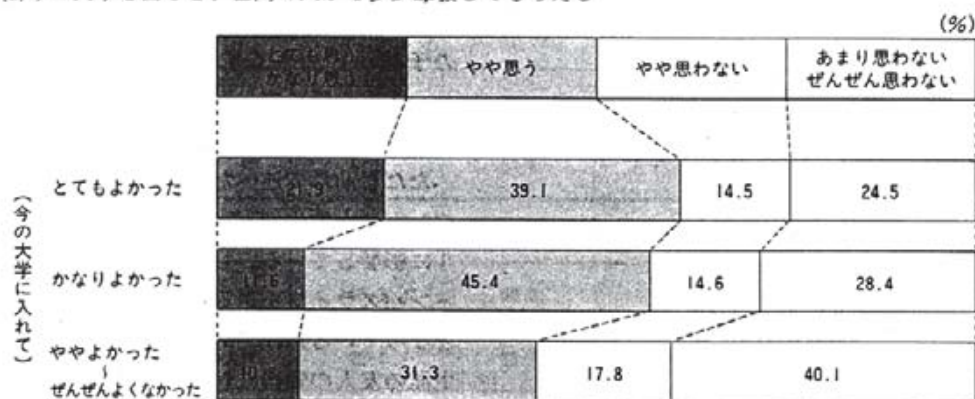
ただし図18-(b)に示したように、「勉強はともかく、4年間のんびりと過ごせること」に

大学の効用を見い出している学生は、大学への満足度が低い者に多い。これは、満足できる大学に入学できないと、学生生活に意欲を持って取り組むことができず、「のんびり過ごす」という消極的価値のみを大学の効用として認めるようになってしまう、ということを示唆している。

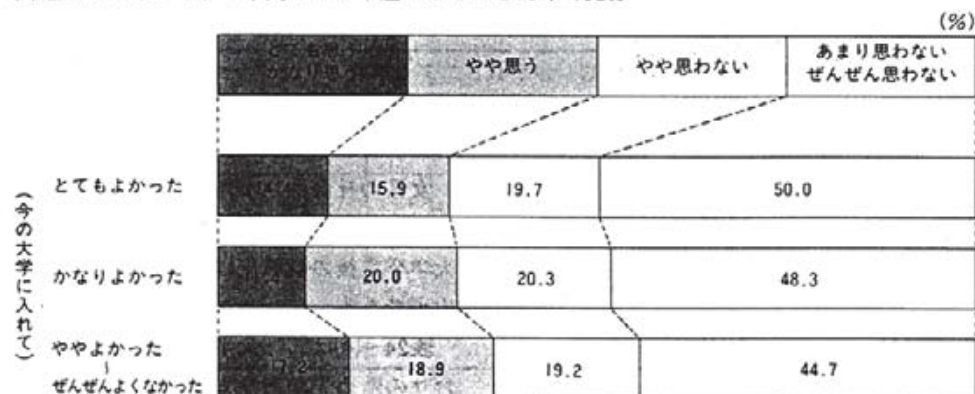
このように、自分が満足できる大学に入学することは、学生生活に意欲を持ち、さまざまな分野で大学の効用を享受できるようになれる、という意味で大変重要なことと言えよう。そして、前章で述べたように、満足でき

図18 大学への満足度と大学の効用の関係

(a)今の大学を出ると、世間の人から多少尊敬してもらえる



(b)勉強はともかく、4年間のんびり過ごせることだけで充分



満足できる大学へ入学した者は、大学生生活をエンジョイでき、しかも卒業後の効用も大きいと考えている。

る大学に入学することは、高校生活を有意義に過ごすことに起因している。したがって、高校時代の過ごし方は大学卒業後の人生にまで波及効果を持っていることになり、改めてその重みを感じざるをえない。

ところで図18で用いた「大学への満足度」は入学後の満足度である。しかし入学前の満足度とも言える「第一志望で入学したか否か」と大学の効用に対する認識の関係を見ると、少し傾向が異なってくる。すなわち、学業的側面、タテのつながりについては同様だが、「楽しい大学生を送れる」、「一生つきあっていける友人を得る」といったキャンパスライフに関する効用を認める学生は、必ずしも第一志望で入学した者に多いわけではないのである。

学業やタテのつながりについては、入学前の子想から大きくずれることがないのに対し、学生生活の楽しさや交友関係は入学してみないとわからない、ということだろうか。

ただし前章で述べたように、高校生活の過ごし方は大学生(若者)としてのライフスタイルに影響している。したがってどのようなキャンパスライフを送るかは、高校生活が素地となっているわけであり、楽しい学生生活や生涯の友人の獲得に対して高校生活が持つ重みは、やはり大きいと言えるだろう。

2. 職業の可能性

女性の社会進出が増大する中で、女子学生の就職率も年々上昇し、いまや男女を問わず大学卒業後の就職先は学生にとって大きな関心事である。

表24-(a)は、「大学を卒業する時、希望どおりの勤め先がありますか」という質問に対する回答結果である。

全体では「きっとある」が19%、「たぶんある」が50%となっており、約7割の学生が楽

観的な見方をしている。男女別にみると、さすがに女子学生の方がやや悲観的であるとはいいながらも、67%の女子学生が「きっと」あるいは「たぶんある」と答えている。

国立4年制大学と私立4年制大学のみ取り出して比較すると、「きっと」と「たぶんある」の合計は、前者では74%であるのに対し、後者では63%で、10%程度低くなっている。前節で私立大学では国立大学に比べてキャンパスライフの充実に関して有利であるのに対し、学業的側面での効用が低いことを指摘したが、この結果はそのことを裏づけているように思われる。

次に表24-(b)に目を転じよう。停年までにつけそうな地位は、「部長」がもっとも多く36%、次いで「課長」の34%である。一流企業で「社長」の椅子まで獲得できている者も2%いる。

男女別に見ると、男性中心の企業社会を反映するかのように、男子学生の方が高い地位まで昇れると考えていることがわかる。しかしながら女子学生も約7割が「課長」以上、約3割が「部長」以上になれると考えている。女性にとって大変不利な仕組みとなっている現行の企業の昇進制度を知らないのか、あるいは最近の女性の職場進出が男女平等の昇進制

表24 職業の可能性

(a) 大学卒業後、希望どおりの勤め先があるか

(%)

	きっとある	たぶんある	たぶん無理	ぜったい無理
全 体	18.9	50.4	27.7	3.0
男 子	21.4	50.4	25.7	2.5
女 子	16.3	50.3	29.8	3.6
国立4年制大学	20.1	53.5	24.2	2.2
私立4年制大学	15.6	47.5	32.8	4.1

(b) 一流企業に勤めたとしたら、停年までにどれぐらいの地位につけるか

(%)

	係長	課長	部長	重役	社長
全 体	19.2	34.3	35.5	9.0	2.0
男 子	9.2	31.6	43.1	12.6	3.5
女 子	30.9	37.5	26.5	4.8	0.3
国立4年制大学	16.5	32.0	38.1	11.0	2.4
私立4年制大学	19.2	35.6	34.8	8.5	1.9

現在在籍する大学への満足度が高いほど、卒業時希望どおりの勤め先に就職でき、就職後も高い地位まで昇進できていると思っている。

度を推進する力となることを信じているのか、いずれにしても楽観的な将来展望である。

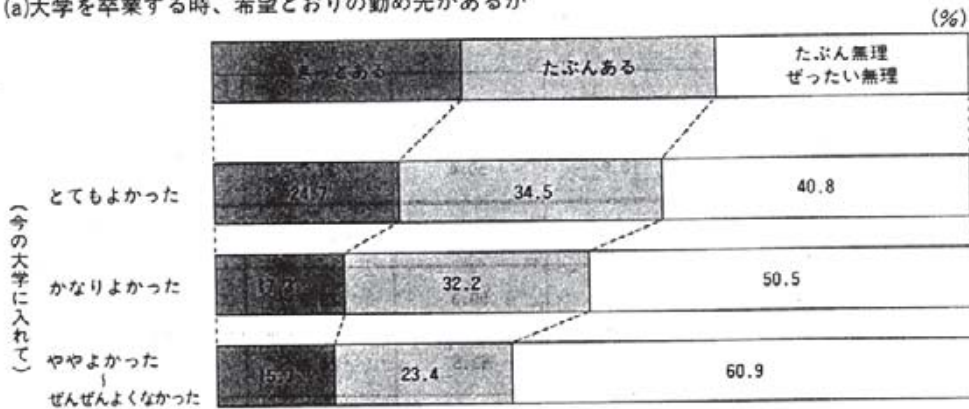
国立4年制大学と私立4年制大学を比較すると、表24-(a)と同様、国立大学生の方が期待が大きい。

次に、大学卒業時の就職と停年までにつける地位の期待に対して、大学への現在の満足度がどの程度支えとなっているのか見てみよう。

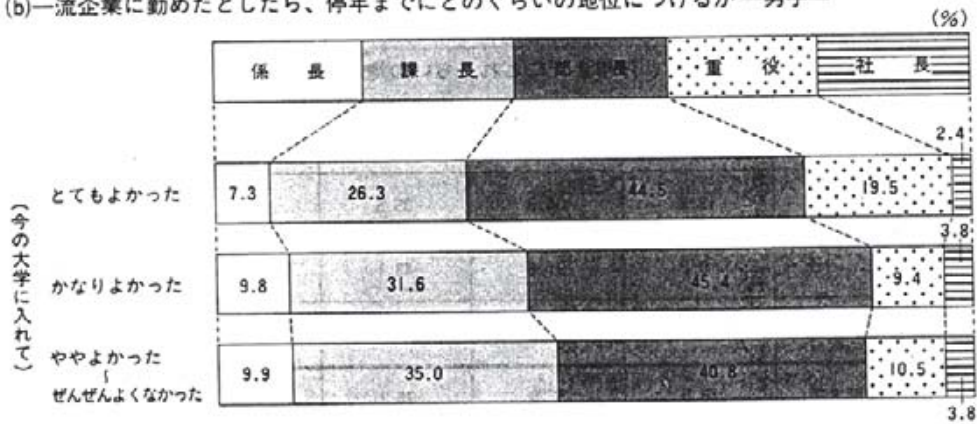
図19-(a)によると、「大学を卒業する時、希望どおりの勤め先があるか」という質問に対し、「きっとある」と答えた者は大学への満

図19 大学への満足度と職業の関係

(a)大学を卒業する時、希望どおりの勤め先があるか



(b)一流企業に勤めたとしたら、停年までにどのぐらいの地位につけるか—男子—



満足度が高い者に多く、逆に「たぶん（ぜったい）無理」と答えた者は満足度が低い者に多い。

一流企業で停年までにつける地位と大学への満足度の関係をみると、女子学生の場合ほとんど傾向は見い出せなかった。男子学生についてのみ示したものが、図19-(b)である。これによると、「課長まで」は大学への満足度が低い男子学生に多く、それより地位の高い「部長まで」、「重役まで」は大学への満足度が高い男子学生に多くなっている。

このように、現在在籍している大学に対する満足度が高いほど、大学卒業時に希望とおりの勤め先に就職でき、就職後も高い地位まで昇進できる、と思う傾向がある。

「今の大学に入れてよかった」という理由にはさまざまあろうが、自分の在籍する大学に

対する世間一般の評価が高いこともその一つであろう。そしてそのような大学を卒業することは、一般に就職や昇進に有利に働く。したがって大学への満足度が高い（今の大学に入れてよかったと感じる）ことが、就職や昇進への期待の大きさに結びつくのは当然とも言える。しかしながら、そういった「肩書の効用」のみならず、大学に満足することが学生生活を積極的にし、それが自分自身に対する自信につながり、職業生活への自信にも結びつく、という「自己成長」による側面も考えられる。それにしても前節でも述べたように、高校生活の過ごし方が大学への満足度につながることをわかっており、本節の結果は、職業生活にまで高校生活が影響してきていることを示唆している。



3. 幸福感

男子より女子の方が幸福感が強い。
 女子は、人生の中でもっとも幸福な時期は、「結婚し、子どもが生まれる頃」(約75%) と思っている

本章ではこれまで、大学の効用と職業生活の面から学生たちの将来イメージを見てきた。本節ではそれらをも含んだ全体的な幸福感を過去から将来に至るまで、時間を追って見てみよう。

図20は、「小学校高学年の頃」から「年をとった頃」までのそれぞれについて、学生たちに「しあわせの度合い」を質問した結果である。

これによると人生の中でもっとも幸福な時期は「結婚し、子どもが生まれる頃」で、36%が「とてもしあわせ」、39%が「かなりしあわせ」と答えている。これに次いで幸福感の強い時期は、「小学校高学年の頃」、「中学生の頃」、「現在」などである。現在から結婚までの間、つまり「大学を卒業する頃」に一時的に幸福感が落ち込むのは、就職をはじめ種々の進路の問題で思い悩む時期であるからと思われる。また「年をとった頃」も約5割の者が「とても

図20 幸福感の変化

	とてもしあわせ	かなりしあわせ	ややしあわせ	ややふしあわせ	かなりふしあわせ	とてもふしあわせ
小学校高学年の頃	27.1	36.1	27.3	8.5	3.7	
中学生の頃	22.3	38.2	27.4	7.0	5.1	
高校1年の頃	17.6	35.7	31.7	9.4	5.6	
高校2年の頃	20.2	36.0	28.6	10.0	5.2	
高校3年の頃	18.6	33.0	30.4	11.8	6.0	
現在	22.3	42.5	25.9	6.1	3.2	
大学を卒業する頃	15.3	36.7	35.6	9.4	3.0	
結婚し、子どもが生まれる頃	35.6	38.7	20.7	3.3	1.7	
40歳ぐらいの頃	18.1	37.4	35.0	7.2	2.3	
年をとった頃	18.6	28.8	36.1	9.6	6.9	

しあわせ」あるいは「かなりしあわせ」と答えており、老後に暗いイメージはあまりないようである。

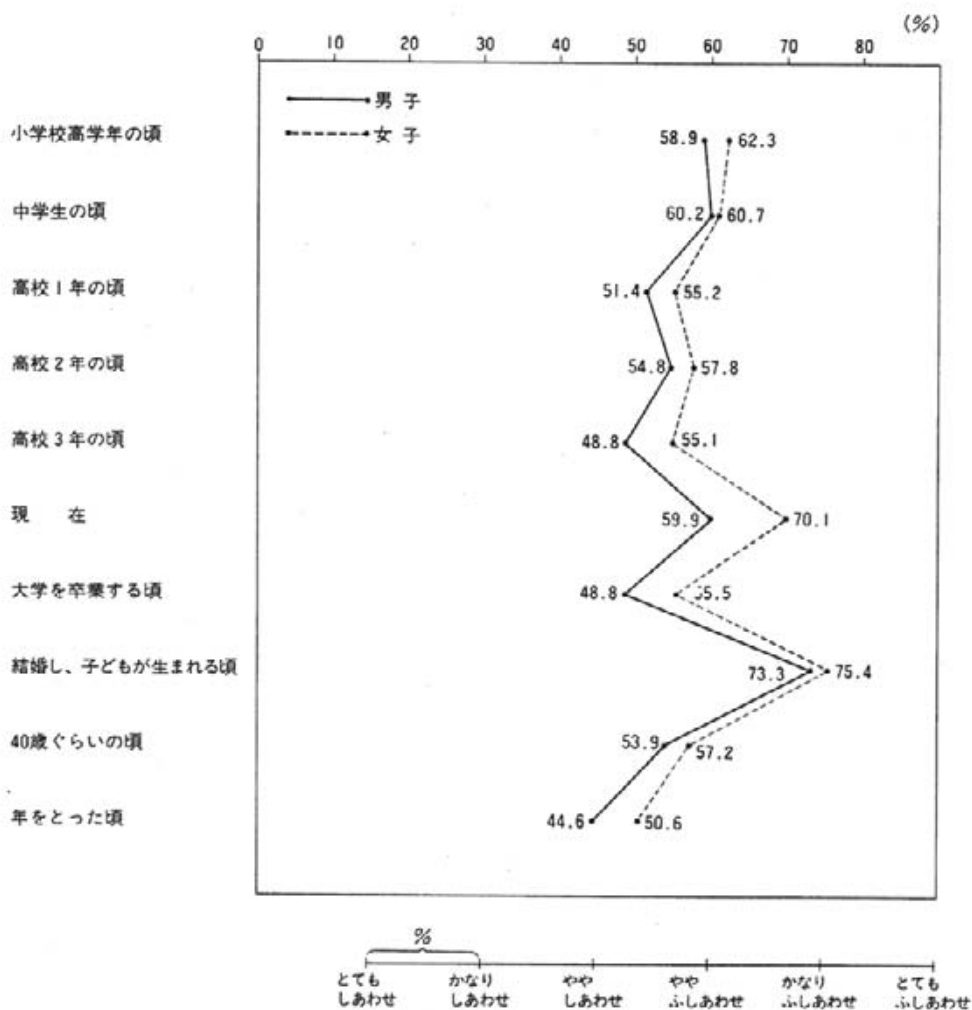
次に図21は、「ともしあわせ」と「かなりしあわせ」の合計値を男女別に求めてグラフにしたものである。

これによると、全体的に女子学生の方が幸福感が強い。男女の間における幸福感の差の変化を見ると、「中学生の頃」から「現在」に至るまで広がりつづけ、その後「結婚し、子どもが生まれる頃」まで縮まって、老後に向け

て再び広がってゆく。とくに「現在」では、男子学生60%に対し、女子学生70%と、もっとも差が大きくなっている。これは、「女の子だから」ということで型にはまった教育を受けやすい高校以前、また職場での不平等や家庭での性別役割観といった制約の多い卒業後の生活に比べ、学生時代の「現在」は男性と平等に自由を謳歌できるからだろうか。

それでは、幸福感もまた大学への満足度に影響されているのだろうか。図22-(a)をまず見てみよう。

図21 性による幸福感の違い



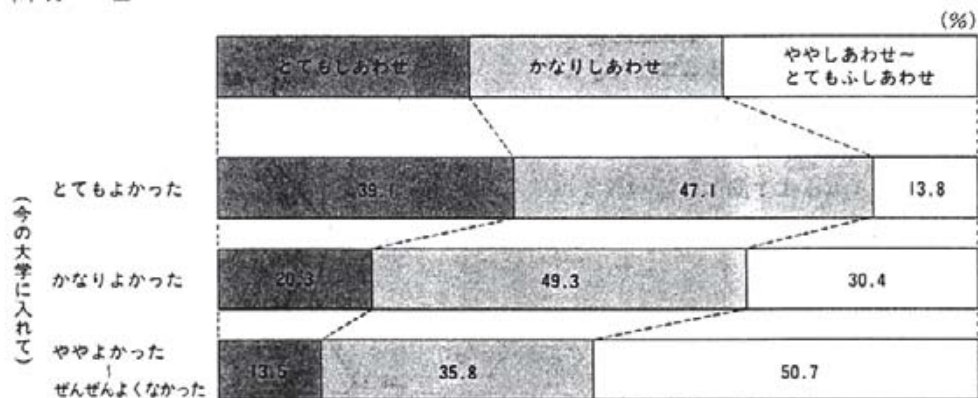
満足できる大学に入学することは、
その後の人生のキメ手になる

現在「とてもしあわせ」と答えた者は大学への満足度が高い者に多く、「ややしあわせ」から「とてもふしあわせ」までの合計は逆に満足度の低い者に多くなっている。「現在」の生活に対しては、大学での生活の占める比重が高いから、大学への満足度が幸福感に影響を及ぼしているのは当然かも知れない。

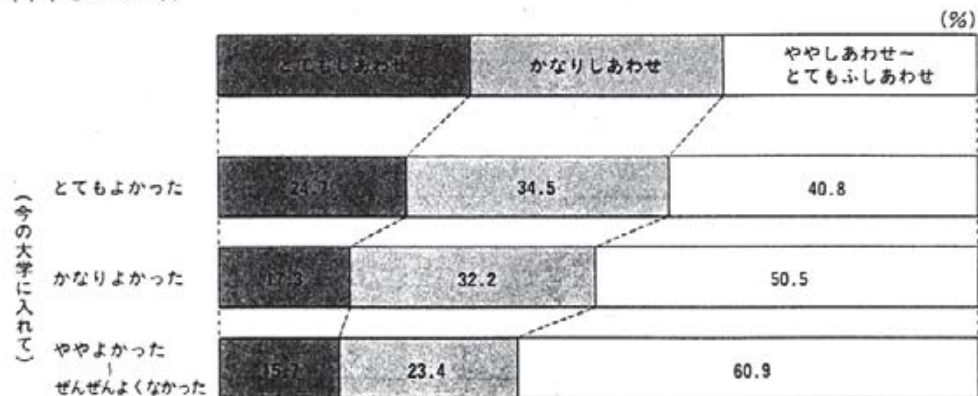
しかし、大学を卒業してかなりの年数を経た時点においても、やはり現在の大学への満足度が依然として効力を持っているようなのである。図22-(b)によれば、大学への満足度が高いほど「年をとった頃」の幸福感は、高い

図22 大学への満足感と幸福感の関係

(a) 現 在



(b) 年をとった頃



ことがわかる。「現在」から「年をとった頃」までの間の時期、すなわち卒業、結婚・出産、40歳の頃においても、同様の傾向が表れている。

一生のうちのわずか4年間（あるいは2年間）だけ満足できる大学に通うことが、このように生涯の幸福に大きく影響するということは、驚くべきことである。

そしてこの「幸福」の中身は、本章のこれまでの各節で示してきた、大学の効用を受けられることや、希望する職業生活を送れることもその一部だろう。また、「今の大学に入れてよかった」と思うことが、積極的な学生生活の実践を通して将来の人生全体への自信を生み、そのことが幸福感につながる、ということもあろう。

このように、本章の調査結果は、満足できる大学に入学することがその後の人生にとって大きな効力を持つことを示唆している。したがって前章で述べたように、高校生活の過ごし方が大学への満足度に影響することを考えると、高校生活というものは人生の単なる通過点ではなく、重要な意味を含んでいると言えよう。



第V章 高校生活の意味



1. 高校生活の延長に大学生活が

高校時代の過ごし方は、大学生活、
そしてその後の人生に、予想以上に
大きな影響を与えている

この辺で、今まで述べてきたことのまとめを行っておこう。調査を始めるにあたって、当然のことながら、われわれは、若干の仮説を設定していた。

そうした中で、われわれの間に、高校生活に対する評価をめぐって、意見の対立があった。一方は、高校教育の機能を否定的にとらえる見方で、その論旨は、今の高校は、大学進学のための通過機関になっており、教育機能を期待しえないというものであった。それに対し、高校は、高校なりの努力を重ねているし、なんとと言っても、3年という歳月は、生

徒たちの人間形成に、なんらかの影響を及ぼすにちがいない。したがって、知識や技術の伝達という意味はともかくとして、それでも教育機関としての役割を果たしているという見方であった。

そして、正直なところ、全体としての雰囲気は、前者の高校教育否定論が大勢を占め、後者は、説得力に乏しかった。

しかし、調査結果によると、高校での過ごし方は、予想以上に、大学進学後の生活に影響を与えている。

すでに、III章で、詳しく考察を加えたように、高校時代、授業に熱心であった者は、希望の大学に入学できただけでなく、その大学に充足感をおぼえ、講義や先生との接触到積極的な態度を示している。そうした反面、異性にもてる、友だちが多い、ユーモアがあるなどの面では、自信が持てない姿が見い出された。

つまり、授業をまじめにきくタイプの高校生は、大学進学後も、基本的には、高校時代と同じような生活を送っている。そしてII章で触れたように、そうした学生は、「もう一度、高校生活に戻れたら」の問いに、自分の過去を、より充実させた形の生活を送りたいと答えている。つまり、大学へ入ったからといって、別の人間が誕生するわけではない。同じ人間が、高校から大学へと進むのであるから、大学へ入学した後も、高校時代と同じ軌跡を歩むのは、考えてみれば、当然の帰結なのであろう。

したがって、高校時代に、部活動に精を出した者は、大学へ入ってからも、同じような生活を送っているし、読書に時間をさいた者

は、大学入学後も、読書の習慣を大事にしている。

そう考えてくると、普通教育の最終段階としての高校生活は、それからの後の生活の過ごし方に、強い影響を与えと思わざるをえない。しかし、それにしては、すでに触れたように、学校では友だちとのダベリング、そし



て家庭ではテレビを見るという行動で構成されている高校生活は、あまりにも貧しいと言わざるをえない。人間的に貧しい高校生は、そのまま貧しい大学生となり、おそらく、貧しい社会人となっていくのであろう。

2. 数量化を使って

しかし、結論を急ぎすぎたかも知れない。そこで、念のために、数量化の方法を活用し

て、高校生活の過ごし方と大学生活との関連を検討しておこう。



図23に示したように、今の大学へ入れてよかったと思っている者の高校時代の属性を分析してみると、

- ①高校の頃の成績
- ②授業を熱心にきいていたかどうか

が、大きな説明力を示している。そうした本人の属性と比べ、「高校の設立年度」や「受験指導に熱心な高校」、「高校の進学率」など、高校の属性は説明力が低い。

つまり、どの高校にいたかよりも、その本人が、どういう生活を送ったかの方が、大学生活のあり方に影響するところが大きい。

そこで、図23に掲げた各アイテムのカテゴリースコアを示すと、図24のとおりとなる。

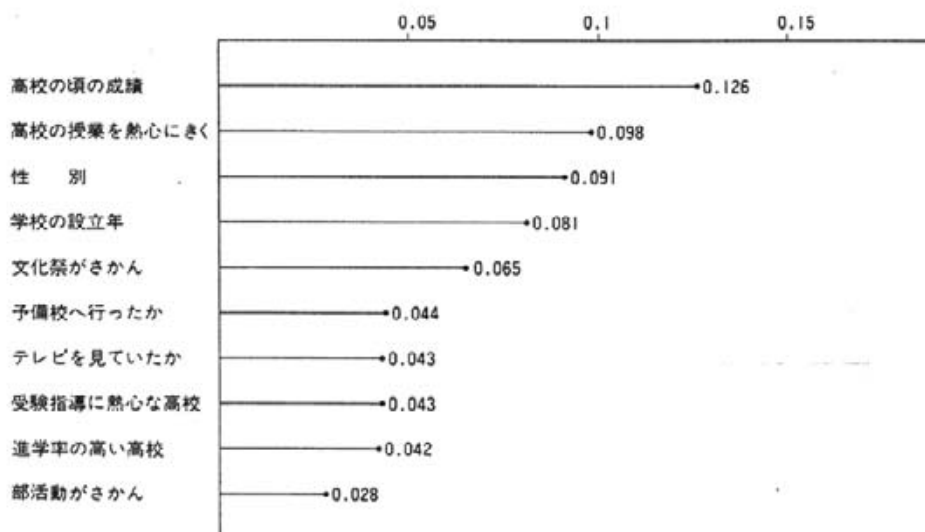
このスコアの中から、大学へ入れてよかったと思っている者の属性を拾い出すと、

- ①高校時代に熱心に授業をきき 4) — ①、
0.99
- ②高校時代の成績がよく 5) — ①、0.93
- ③古くからある高校で 2) — ②、0.71
- ④文化祭などの行事のさかんな 8) — ①、
0.55
- ⑤進学校に在籍していた 3) — ①、0.51
- ⑥男子 1) — ①、0.56

となる。いわゆる名門校の中で、まじめに勉強していた者が、志望の大学へ入れ、大きな夢を抱いて、新しい生活を始めたという感じである。それに反し、今の大学に不満を感じている者の属性は、以下のとおりであった。

- ①高校の頃、授業をまじめにきかず

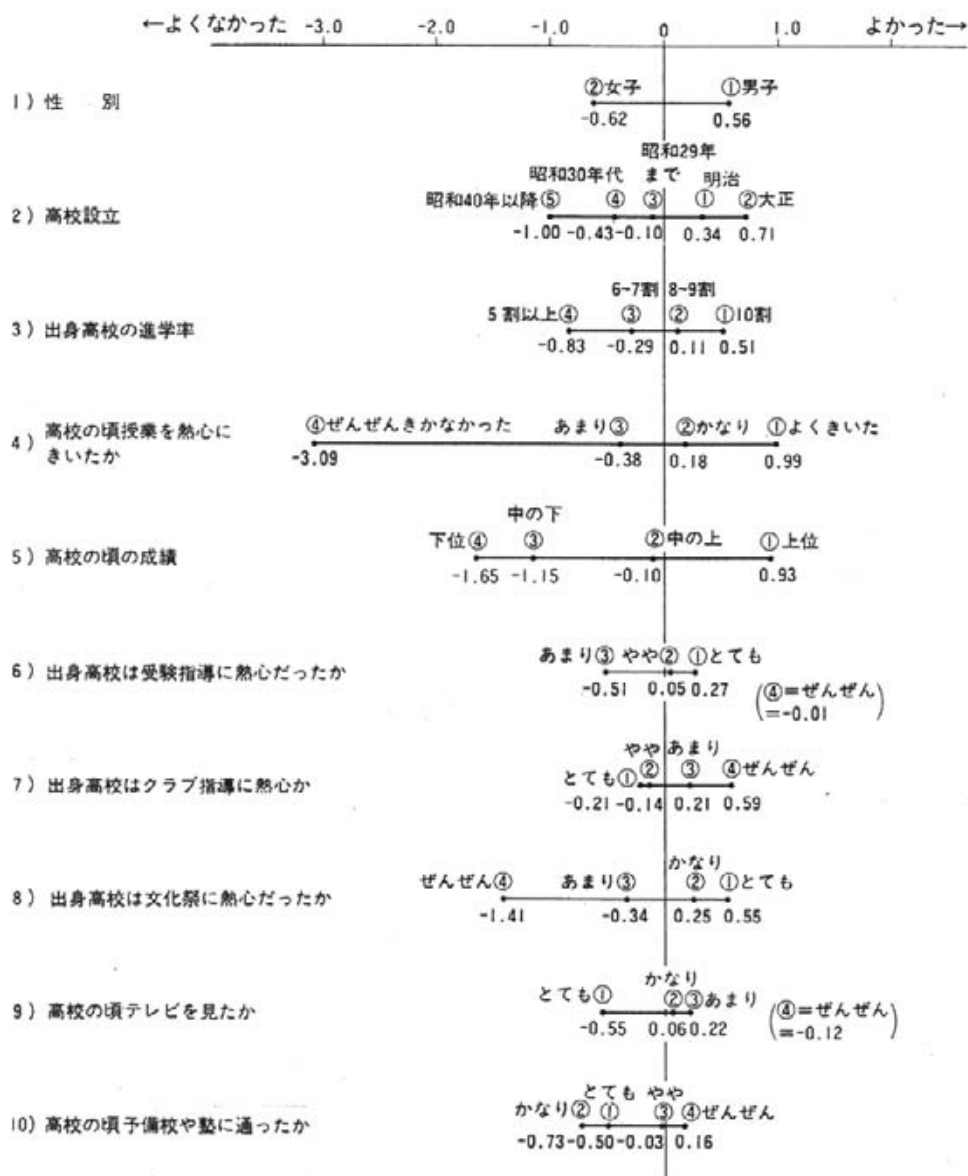
図23 今の大学へ入れてよかったか(偏相関係数)



- 4) — ④、 -3.09
 ②勉強が苦手な 5) — ④、 -1.65
 ③文化祭などの低調な 8) — ④、 -1.41
 ④新しく創立された 2) — ⑤、 -1.00
 ⑤進学率の低い高校に在籍した 3) — ④、
 -0.83

- ⑥女子 1) — ②、 -0.62
 勉強が苦手な、テレビ好きの、つまり、本来なら、大学に不向きな者が大学へ入り、今の大学は自分に向いていないとこぼしているような感じのプロフィールである。
 しかし、これだけでは、大学生活のどの領

図24 今の大学へ入れてよかったか



域に充足感を味わっているかがわからないので、それを検討しようとしたのが、図25、図26である。

2つのグラフを重複させると明らかなように、高校の頃、授業をまじめに受け、テレビなどにおぼれずに勉強していた者ほど、大学

入学後、大学のアカデミックな環境に充足感を味わっている。それに反し、高校時代、テレビばかり見て、授業もなまけがちだった者は、大学へ入学してからも、大学のアカデミックな雰囲気に対応できないだけでなく、人間関係でも孤立している印象を受ける。

図25 大学への充足感

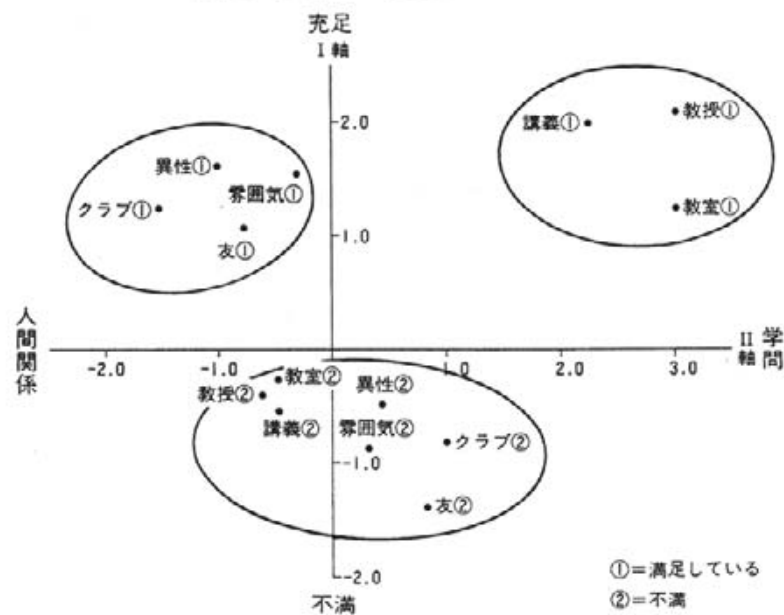
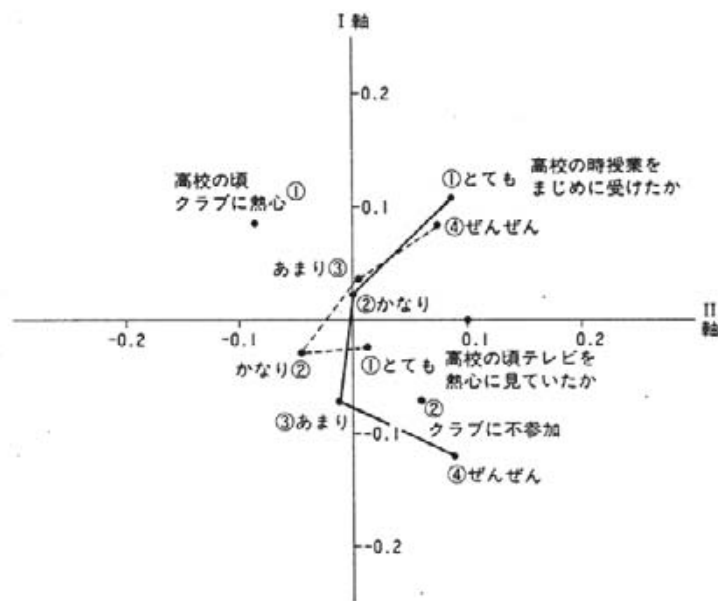


図26 大学への充足感(カテゴリーウエイト)



それにひきかえ、高校時代にクラブ活動に精を出していた者は、アカデミックな面はともあれ、人間関係の面では、大学生活に満ちたりた気持ちを味わっている。

それと同じような傾向が図27、図28にも表れている。つまり、大学生、あるいは若者

としての自信は、高校生としての生活の過ごし方を、正確に反映している。例えば、当然のこととはいえ、高校時代、成績がよく、勉強を努力した者は、大学生になっても、そうした自分を自己像として描き、クラブ活動に熱中した者は、体力があり、リーダーシップ

図27 若者としてのタイプ

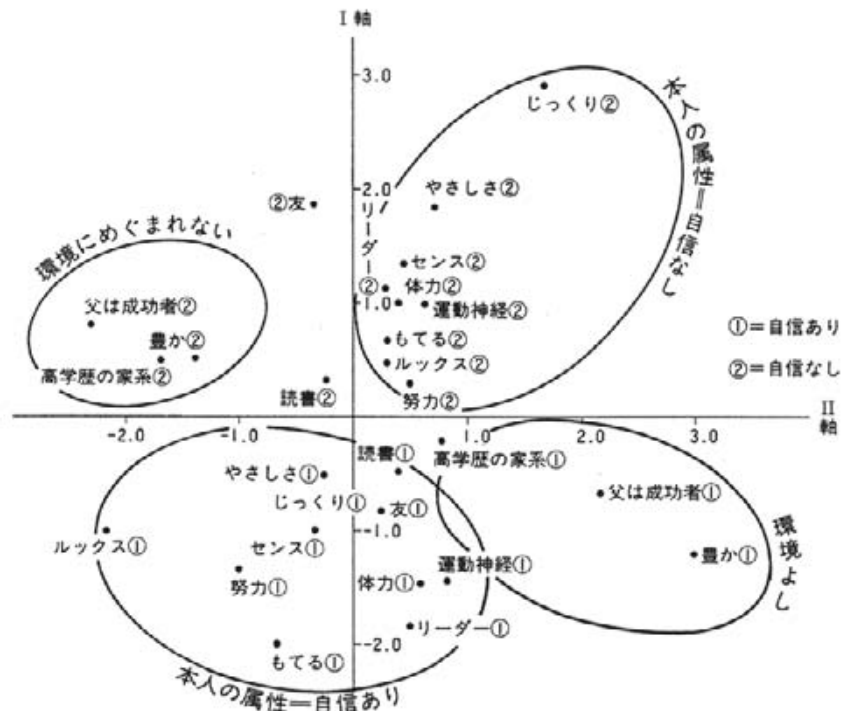
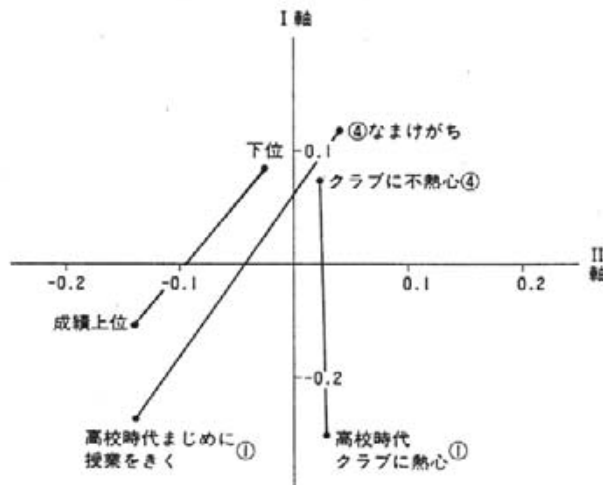


図28 若者としてのタイプのカテゴリーウエイト略図



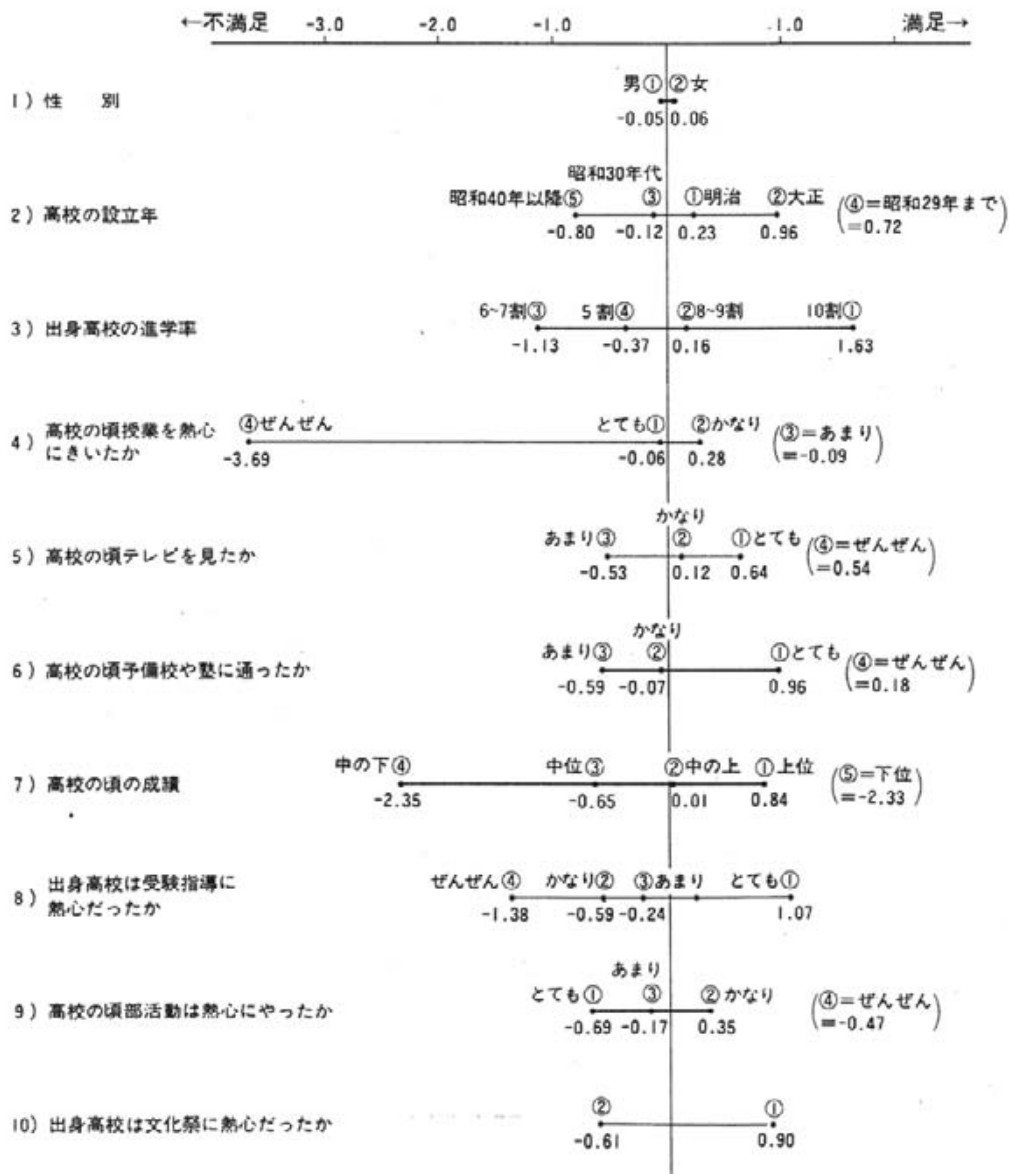
のある自分を、自己のイメージとしている。

もちろん、本サンプルの4分の3は、大学1～2年生なので、大学へ入ってから、本人がどう自己変革したかは、今のところ、明らかでない。したがって、大学の4年生を対象に調査を行ったとするなら、現在の大学での

影響が、もっと大きなウエイトを占め、高校生活の重圧が、もう少し影をひそめると考えられる。

しかし、図29によると、高校時代に、授業をなまけがちで、成績が下位だった者は、大学のアカデミックな面に不適應しているだけ

図29 大学のクラブ活動に満足しているか



でなく、クラブ活動にも、不満をあらわにしている。それに反し、高校時代、成績がよく、進学校に在籍していた者の中で、大学へ入ってから、クラブ活動を始めた者が目につく。高校時代は、進学を控えていたので、クラブを自粛していたが、大学生になり、クラブに積極的に参加しはじめたのであろう。

そうだとすると、大学生生活の影響は、高校生活の延長線上で、むしろ、それを拡大する形で、定着していく可能性が強い。



3. 人間性豊かな高校生活を求めて

このように見てくると、高校生活が、人間形成の面で、予想以上に、大きな影響力を持つと思わざるをえない。

そこで、もう一度、表13で引用した高校生活の過ごし方を要約してみたい。

「よくした」「かなりした」の割合

- ① 5割以上＝「授業を熱心にきく」(59%)、
「のんびりテレビを見る」(55%)
- ② 4割台＝「クラブ活動に精を出す」(48%)、
「読書」(43%)
- ③ 2割台＝「スポーツ」(29%)、「映画」(22%)
- ④ 1割台＝「友人と遅くまで語る」(14%)、
「予備校」(14%)、「音楽会」(13%)、「デート」(13%)
- ⑤ 1割以下＝「アルバイト」(6%)、「ディスコ」(1%)

つきつめて言うと、学校へ行って、授業をきき、帰宅してから、テレビを見、(そして多分)高3の頃から、家庭学習に打ち込む

生活である。そして、そうした生活の中に、読書やスポーツ、友との深いかかわり、音楽会などの文化との接触、アルバイトなどは、ほとんど姿を表していない。

しかし、高校生活が、その後の人生を方向づける基盤を意味しているのであるから、高校としては、もう少し、豊かな人間形成に目を注ぐ必要がある。例えば、文化祭のあり方を検討する、クラブ活動の活性化を図る、あるいは、読書指導を重視する、教科によっては授業の中で話し合い学習や問題解決学習の方法を取り入れる、芸術のすばらしさに触れさせる機会を増やすなどである。

進学のための通過機関としてではなく、人間形成の場として、高校のあり方をとらえ直す必要がある。そうした大きな課題を、本調査は示したような気持ちがある。今後、この結果を手がかりとして、教育機関としての高校のあり方を掘り下げていきたいと思っている。

現代青年の高校生活と大学生活

このアンケートは、みなさんが、過去にどのような高校生活を送り、
現在どのような大学生活を送っているのかを、お尋ねするものです。

結果は、コンピューターにかけ分析し、今後の教育のあり方を考える
のに役立てたいと思います。よろしくご協力ください。

高校教育研究会 代表

奈良教育大学教授 深谷 昌志

- ① まず、はじめにあなた自身のことをおききします。下のA～Fのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

A. 大学は、1～6のどれにあてはまりますか。

1. 国立4年制大学	40.7	2. 公立4年制大学	5.0
3. 私立4年制大学	41.2	4. 短大	9.6
5. 専修学校	1.6	6. その他	1.9

B. どんな学部に入っていますか。

1. 法学部	7.6	2. 経済・経営	9.5	3. 文学部・人文学部	19.9
4. 教育学部	16.2	5. 理学部	5.1	6. 工学部	12.2
7. 医学部	2.1	8. 芸術学部	1.2	9. 農学部・水産学部	3.8
10. 家政学部	4.2	11. その他	18.2		

C. 今、何年生ですか。

1. 1年生	42.1	2. 2年生	34.1	3. 3年生	20.4	4. 4年生	3.4
--------	------	--------	------	--------	------	--------	-----

D. あなたは、現役で入学しましたか。

1. 現役	96.3	2. 1浪	3.2	3. 2浪以上	0.5
-------	------	-------	-----	---------	-----

E. あなたの性別は

1. 男性	52.1	2. 女性	47.9
-------	------	-------	------

F. あなたは、現在、自宅から通っていますか。

1. 自宅	51.4	2. (大学などの)寮	10.2	3. アパート	26.2	4. その他	12.2
-------	------	-------------	------	---------	------	--------	------

- ② 次に、卒業した高校について、お尋ねします

A. あなたの卒業した高校の所在地はどこですか。

1. 北海道	3.3	2. 東北	5.7	3. 関東	23.7	4. 北陸	4.6	5. 中部	16.2
6. 近畿	25.7	7. 中国	7.7	8. 四国	4.2	9. 九州・沖縄	8.9	10. 外国	0.0
11. その他	0.0								

B. 卒業した高校は

- | | | |
|--------|-------|--------|
| 1. 国公立 | 2. 私立 | 3. その他 |
| 84.4 | 14.5 | 1.1 |

C. 学科は

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1. 普通科のみ | 2. 職業科併設 | 3. 職業高校 |
| 84.5 | 14.6 | 0.9 |

D. 学校が設立されたのは

- | | | | | | |
|-----------|------|-------------|------|-------------|------|
| 1. 明治時代 | 37.1 | 2. 大正時代 | 13.0 | 3. 昭和元年～29年 | 26.2 |
| 4. 昭和30年代 | 8.7 | 5. 昭和40年代以降 | 15.0 | | |

E. 学校の大学への進学率（浪人も含めて）は

- | | | | | | | | |
|-----------|-----|-----------|------|-----------|------|-----------|-----|
| 1. 100% | 8.0 | 2. 99～80% | 61.3 | 3. 79～60% | 16.8 | 4. 59～40% | 7.2 |
| 5. 39～20% | 3.9 | 6. 19～10% | 2.5 | 7. 9%以下 | 0.3 | | |

F. 1学年の生徒数は

- | | | | | | |
|-------------|------|-------------|------|-------------|------|
| 1. 250人以下 | 9.0 | 2. 250～300人 | 7.0 | 3. 301～350人 | 9.6 |
| 4. 351～400人 | 21.1 | 5. 401～450人 | 31.7 | 6. 451～500人 | 13.4 |
| 7. 501～700人 | 6.7 | 8. 701～999人 | 0.9 | 9. 1,000人以上 | 0.6 |

G. あなたの卒業した高校はどんな学校でしたか。

	と と も せ う	か な り せ う	そ あ ま り で な い	そ ん ぜ ん ぜ ん な い
(1) 受験指導に熱心な学校	32.0	43.4	21.2	3.4
(2) クラブや部活動のさかんな学校	13.1	48.6	34.9	3.4
(3) 体育祭や文化祭などのさかんな学校	17.8	40.6	36.2	5.4
(4) 校則などの厳しい学校	15.6	24.3	41.7	18.4
(5) 非行生徒のとても少ない学校	30.2	47.9	18.9	3.0
(6) 熱心に勉強する生徒の多い学校	13.8	43.3	38.2	4.7
(7) 熱心に教える先生の多い学校	18.3	49.4	29.6	2.7
(8) 制服の着用の厳しい学校	36.9	28.3	19.6	15.2

H. もう一度、高校生活を送りたいと思いますか。

1	2	3	4	5	6
ぜひ送りたい	送れたらいい	やや送りたい	やや送たくない	あまり送たくない	ぜんぜん送たくない
19.9	33.3	22.4	6.5	11.1	6.8

I. もう一度、高校生活を送れるとしたら、卒業した高校に入学したいと思いますか。

1	2	3	4	5	6
ぜひ入学したい	入学したい	やや入学したい	やや入学したくない	あまり入学したくない	ぜんぜん入学したくない
33.6	19.7	15.5	7.5	13.4	10.3

J. 高校時代、あなたは、クラブに入っていましたか。

1. 運動部に入って、熱心に活動していた	21.0
2. 運動部に入っていたが、あまり熱心でなかった	9.5
3. 文化部に入って、熱心に活動していた	23.8
4. 文化部に入っていたが、あまり熱心でなかった	20.0
5. 運動部に入り、すぐにやめた	9.0
6. 文化部に入り、すぐにやめた	4.4
7. どのクラブにも入らなかった	12.3

K. 高校生活を以下の4つに分けたら、それぞれの楽しさはどれくらいでしたか。

	とても楽しかった	かなり楽しかった	やや楽しかった	ふつうぐらい	楽しくなかった	あまり楽しくなかった	ぜんぜん楽しくなかった
(1) 授業をきいている時………	2.5	14.9	24.1	38.5	6.8	9.1	4.1
(2) 友だちと話している時………	35.9	35.7	15.3	9.4	1.5	1.8	0.4
(3) クラブ・部活動………	23.3	25.8	19.5	16.8	4.7	5.5	4.4
(4) 先生との関係………	8.9	18.7	24.2	32.1	5.3	7.2	3.6

- ③ あなたは、高校時代に、次のようなことをどれくらいしましたか。また、仮りにもう一度、高校生活を送れるとしたら、次のようなことをどれくらいしたいと思いますか。

		高校時代				もう一度 高校生になれば			
		1	2	3	4	1	2	3	4
		よくした	かなりした	しなかつた	しぜんしなかつた	ぜひしたい	しかなり	しなかつた	しぜんしなかつた
A	熱心に授業をさく	12.8	46.5	37.6	3.1	31.8	43.6	20.5	4.1
B	のんびりとテレビを見る	17.5	37.3	37.8	7.4	13.1	31.0	45.9	10.0
C	友人と夜遅くまで語り合う	4.3	9.8	41.7	44.2	47.0	37.9	12.5	2.6
D	アルバイトをする	1.1	4.8	18.6	75.5	19.0	25.9	35.2	19.9
E	音楽会やコンサートへ行く	3.0	9.6	42.1	45.3	38.1	43.1	14.2	4.6
F	異性とデートをする	2.5	10.1	36.8	50.6	38.2	39.0	18.0	4.8
G	塾や予備校へ通う	3.6	10.2	24.4	61.8	3.4	8.4	28.3	59.9
H	小説やいろいろな本を読む	16.9	26.5	45.8	10.8	64.9	28.8	5.0	1.3
I	映画を見に行く	4.8	17.0	56.5	21.7	37.6	43.4	15.9	3.1
J	クラブや部活に精を出す	26.5	21.4	31.2	20.9	55.8	31.9	9.5	2.8
K	ディスコへ行く	0.2	0.5	5.1	94.2	7.1	13.6	29.5	49.8
L	スポーツに打ち込む	14.2	14.8	39.9	31.1	44.9	36.7	12.9	5.5

- ④ あなたの成績は、だいたいどれくらいでしたか。

	上位	中の上	中位	中の下	下位
A. 小学校高学年の頃	56.7	25.3	12.4	3.8	1.8
B. 中学時代	59.4	27.8	7.5	3.4	1.9
C. 高校1年の頃	29.6	32.6	22.8	11.3	3.7
D. 高校3年の頃	34.7	40.4	16.3	6.8	1.8

5 それでは、大学進学についてお尋ねします。

A. 現在、入学している大学（学部を含めて）は、あなたにとって、第一志望の学校でしたか。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 第一志望だった | 2. 第一志望でなかった |
| 47.0 | 53.0 |

B. あなたが、現在の大学、学部を受験しようと思ったのは、いつ頃でしたか。

- | | | | |
|---------------|------|---------------|------|
| 1. 高校入学前から | 5.3 | 2. 高校1年の頃 | 5.8 |
| 3. 高校2年の頃 | 14.2 | 4. 高校3年の1学期から | 20.7 |
| 5. 高校3年の2学期から | 29.6 | 6. 高校3年の3学期から | 20.4 |
| 7. 浪人してから | 1.9 | 8. その他 | 2.1 |

C. あなたの現在入っている大学、学部は、あなたの学力からみてどうでしたか。

- | | | | | | | |
|----------------------------|-----------------------------------|------------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 高と
望み
だっ
た
2.2 | 高か
望み
みだ
りだ
った
5.1 | 高や
望み
やだ
った
14.3 | だ実
た力
た相
当
41.3 | やや
さし
しか
った
22.0 | やか
かなり
しだ
った
10.0 | よと
さし
かも
った
5.1 |

D. あなたは、大学進学の受験勉強を、いつ頃から本腰を入れて始めましたか。

- | | | | |
|---------------|------|---------------|------|
| 1. 高校入学前から | 0.2 | 2. 高校1年の頃から | 2.3 |
| 3. 高校2年の頃から | 13.6 | 4. 高校3年の1学期から | 31.0 |
| 5. 高校3年の夏休みから | 21.7 | 6. 高校3年の2学期から | 25.3 |
| 7. 高校3年の3学期から | 4.6 | 8. 浪人してから | 1.3 |

E. その頃、平均して毎日、何時間ぐらい勉強をしましたか。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|-----|-----|-----|
| (1) 毎日 <input type="text"/> 時間ぐらい勉強をした | <table border="0"> <tr><td>3時間</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>4時間</td><td>2.1</td></tr> <tr><td>5時間</td><td>11.3</td></tr> <tr><td>6時間</td><td>35.4</td></tr> <tr><td>7時間</td><td>32.2</td></tr> <tr><td>8時間</td><td>17.6</td></tr> <tr><td>9時間</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>10時間</td><td>0.1</td></tr> </table> | 3時間 | 0.1 | 4時間 | 2.1 | 5時間 | 11.3 | 6時間 | 35.4 | 7時間 | 32.2 | 8時間 | 17.6 | 9時間 | 1.2 | 10時間 | 0.1 | | |
| 3時間 | 0.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4時間 | 2.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5時間 | 11.3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6時間 | 35.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7時間 | 32.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8時間 | 17.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9時間 | 1.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10時間 | 0.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 睡眠時間は、平均 <input type="text"/> 時間ぐらい | <table border="0"> <tr><td>0時間</td><td>0.9</td></tr> <tr><td>1時間</td><td>1.3</td></tr> <tr><td>2時間</td><td>6.6</td></tr> <tr><td>3時間</td><td>21.7</td></tr> <tr><td>4時間</td><td>27.9</td></tr> <tr><td>5時間</td><td>23.5</td></tr> <tr><td>6時間</td><td>10.5</td></tr> <tr><td>7時間</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>8時間</td><td>3.6</td></tr> </table> | 0時間 | 0.9 | 1時間 | 1.3 | 2時間 | 6.6 | 3時間 | 21.7 | 4時間 | 27.9 | 5時間 | 23.5 | 6時間 | 10.5 | 7時間 | 4.0 | 8時間 | 3.6 |
| 0時間 | 0.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1時間 | 1.3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2時間 | 6.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3時間 | 21.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4時間 | 27.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5時間 | 23.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6時間 | 10.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7時間 | 4.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8時間 | 3.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 寝るのは、だいたい 午前 <input type="text"/> 午後 <input type="text"/> 時頃 | <table border="0"> <tr><td>1時</td><td>33.4</td></tr> <tr><td>2時</td><td>16.0</td></tr> <tr><td>3時</td><td>4.5</td></tr> <tr><td>4時</td><td>0.7</td></tr> <tr><td>22時</td><td>1.6</td></tr> <tr><td>23時</td><td>10.4</td></tr> <tr><td>24時</td><td>32.0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1.4</td></tr> </table> | 1時 | 33.4 | 2時 | 16.0 | 3時 | 4.5 | 4時 | 0.7 | 22時 | 1.6 | 23時 | 10.4 | 24時 | 32.0 | その他 | 1.4 | | |
| 1時 | 33.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2時 | 16.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3時 | 4.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4時 | 0.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22時 | 1.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23時 | 10.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24時 | 32.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 1.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

F. 今、ふりがえってみて、あなたは受験勉強をがんばったと思いますか。

1	2	3	4	5	6
がと んば った	が か ん ば り た	が や ん ば り た	が や ん ば ら な か っ た	が あ ま り ば ら な か っ た	が ぜん ぜん ば ら な か っ た
7.4	23.9	25.4	9.6	26.0	7.7

G. 今の大学に入れて、あなたはよかったと思っていますか。

1	2	3	4	5	6
よと か っ た	よ か ん り た	よ や か っ た	よ や く な か っ た	よ あ ま り な か っ た	よ ぜん ぜん な か っ た
26.6	27.5	26.7	7.3	8.4	3.5

H. もう一度、受験し直せるとしたら、今の大学に入りたいと思いますか。

1	2	3	4	5	6
入 げ ひ た い	入 で き た ら い	入 や や た い	入 や や た く な い	入 あ ま り た く な い	入 ぜん ぜん た く な い
16.0	15.5	19.8	14.2	20.9	13.6

I. 今の大学は、入学する前に考えていたのよりよかったと思いますか。

1	2	3	4	5	6
と と も よ い	か ん り よ い	や や よ い	よ や く な い	よ か ん り な い	よ ぜん ぜん な い
8.4	18.4	29.5	26.6	10.1	7.0

- ⑥ あなたは、志望する大学や学部（学科）を決める時、どのようなことを参考にしましたか。A～Jのそれぞれについて、どの程度参考にしたのか、あてはまる番号に○をつけてください。

	と と も 参 考 に し た	か ん り に し た	や や 参 考 に し た	あ ま り 参 考 に し な か っ た	ほ と ん ど 参 考 に し な か っ た	ぜん ぜん 参 考 に し な か っ た
A. 校外模擬テストの成績	17.0	32.4	25.6	11.7	6.4	6.9
B. 学校内のテストの成績	7.2	18.1	27.8	21.9	13.2	11.8

調査票見本・集計表

単位・パーセント

	と と も 参 考 に し た	か な り 参 考 に し た	や や 参 考 に し た	あ ま り 参 考 に し な か っ た	ほ ん ど 参 考 に し な か っ た	ぜ ん ぜ ん 参 考 に し な か っ た
C. 先輩の意見・助言	2.5	8.0	21.3	19.2	17.7	31.3
D. 学校の先生の意見・助言	11.4	30.4	29.1	12.0	9.2	7.9
E. 予備校の先生の意見・助言	1.7	4.7	5.6	6.0	4.3	77.7
F. 受験雑誌の記事・情報	8.7	30.4	36.0	8.6	7.5	8.8
G. 各大学の大学案内 <small>(単行本 パンフレット)</small>	10.0	26.4	31.8	13.9	7.8	10.1
H. お父さんの意見・助言	6.3	14.8	25.6	18.9	12.8	21.6
I. お母さんの意見・助言	5.7	15.3	26.9	18.9	13.2	20.0
J. 友人の意見・助言	3.1	11.7	30.8	22.2	13.6	18.6

7 あなたは、大学へ入学する前、今の大学のことをどれくらい知っていましたか。

	と と も 知 っ て い た	か な り 知 っ て い た	や や 知 っ て い た	あ ま り 知 ら な か っ た	ぜ ん ぜ ん 知 ら な か っ た
A. 講義内容や教授陣	0.7	2.9	13.8	33.9	48.7
B. 入試の難易度	18.2	49.9	25.2	4.5	2.2
C. 取得できる資格	21.1	26.9	26.2	14.5	11.3
D. 過去の入試の傾向	15.6	34.1	26.3	13.5	10.5
E. 就職状況	6.5	16.7	29.4	28.4	19.0
F. 学費や奨学金制度	7.6	19.4	26.4	24.4	22.2
G. 学生生活(寮やアルバイト)	2.0	7.7	23.9	38.5	27.9
H. 学風や大学の環境	4.4	15.8	30.9	29.9	19.0

8 あなたは、志望する大学や学部を決める時、次のようなことをどれくらい大事に考えましたか。

	考えた とても 大事に	かなり 考えた 大事に	やや 考えた 大事に	あまり なかった 大事に	ぜんぜん なかった 大事に
A. 学部（学科）の内容が自分の勉強したいことと合っている	51.0	27.7	11.9	7.1	2.3
B. 自分の学力と合っている	17.3	37.9	26.9	13.9	4.0
C. 月謝が安い	17.5	23.7	20.8	23.4	14.6
D. 家から通える範囲にある	16.0	17.0	14.0	15.2	37.8
E. 自分の希望する仕事につくのに都合がよい	32.9	24.5	17.1	16.2	9.3
F. 就職をするのに有利	19.4	21.5	23.7	22.5	12.9
G. 優秀な教授陣がそろっている	3.8	9.0	17.7	39.0	30.5
H. 自分の得意な科目で受験できる	27.8	31.8	18.9	13.3	8.2
I. その大学の雰囲気が好き	8.0	13.7	21.4	30.3	26.6

9 あなたの選んだ学部（学科）は、あなたの適性や個性に合っていたと思いますか。

1	2	3	4	5	6
合 つて も い る	合 か な り 合 つ て い る	合 や や 合 つ て い る	合 や や 合 つ て い な い	合 あ ま り 合 つ て い な い	合 ぜ ん ぜ ん 合 つ て い な い
15.6	38.8	27.7	8.4	7.4	2.1

10 もう一度、大学を受験し直せるとしたら、今度は何学部を受けてみたいと思いますか。

- 今の学部（学科）を受ける 53.5
- 今の学部（学科）を受けない……▶ その場合は 46.5
 - ↓
 - 法学部 12.4 経済・経営学部 6.6
 - 文学部・人文学部 22.6 教育学部 14.6
 - 理学部 9.8 工学部 4.4
 - 医学部 11.1 芸術学部 6.0
 - 農学部・水産学部 3.7 家政学部 1.6
 - その他(7.2)

11 あなたは、大学での学生生活に満足していますか。

	とても満足	かなり満足	やや満足	やや不満がある	かなり不満がある	とても不満がある
A. 大学の雰囲気	7.7	25.4	26.9	23.0	11.9	5.1
B. 授業の講義内容	2.6	17.9	29.3	30.7	14.0	5.5
C. 友だちとのつきあい	17.8	35.4	26.7	11.8	4.8	3.5
D. クラブ活動	16.6	23.2	21.0	18.1	10.6	10.5
E. 異性とのつきあい	9.3	16.6	23.8	22.5	13.7	14.1
F. 先生方との接触	4.3	11.7	23.7	31.6	18.9	9.8
G. 教室や食堂などの施設	3.9	11.7	17.8	26.6	20.3	19.7

12 受験勉強について、現在、あなたはどのように思っていますか。

	とても思う	そう思う	かなり思う	やや思う	やや思わない	あまり思わない	ぜんぜん思わない
A. 受験勉強は、勉強する態度が身につくし、忍耐力もつくので人生にとってプラスだと思う	13.8	25.7	33.7	8.4	12.7	5.7	
B. 受験勉強で覚えた知識は、社会生活を送るのに役立つと思う	2.8	8.1	22.2	17.7	31.2	18.0	
C. 学校の勉強をきちんとやっていたら、予備校へ行かなくても大学へ進学できると思う	38.4	29.2	14.6	7.2	7.0	3.6	

13 高校教育について、次のような意見があります。あなたは、その意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

	とても賛成	かなり賛成	やや賛成	やや反対	かなり反対	まったく反対
A. 高校生ともなると、学力の差がひらくから学力別クラス編成をすべきだ	6.1	11.7	22.2	19.0	19.4	21.6
B. 高校生をおとな扱いし、髪形や服装をもっと自由にすべきだ	10.8	17.4	29.4	25.8	10.9	5.7
C. テストの結果などを公表し、競争意識をつけさせるべきだ	3.4	6.2	20.5	27.6	20.4	21.9
D. 文化祭や運動会などを、もっと積極的に奨励すべきだ	44.0	33.4	19.1	2.6	0.4	0.5
E. 高校は基礎学力をつけさせる場とし、受験の力は予備校などにまかせるべきだ	2.1	2.7	9.2	27.3	26.9	31.8

14 あなたは、今の大学を卒業すると、どんな面で得をするように思いますか。

- | | | | | | | |
|--|----------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------------|----------------------------|
| | そと
でも
思う | そか
なり
思う | そや
や
思う | 思や
わや
ない
そう | 思あ
わま
ない
り
そう | 思ぜ
わん
ない
ぜん
そう |
|--|----------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------------|----------------------------|
- A. 今の大学を出ると、世間の人から 3.7 — 10.4 — 36.7 — 16.1 — 21.4 — 11.7
多少尊敬してもらえと思う
- B. よい先輩が多いから、仕事の面で 4.1 — 14.0 — 28.9 — 16.6 — 23.6 — 12.8
きっと助けてくれると思う
- C. 一生つきあっていける友人を何人 18.1 — 29.5 — 29.2 — 9.6 — 8.5 — 5.1
か持てるように思う
- D. 一生の何かの折に、先生方が相談 4.4 — 10.1 — 24.5 — 19.3 — 25.2 — 16.5
相手になってくれると思う
- E. 最高水準の勉強ができるので、そ 6.8 — 17.4 — 26.2 — 18.5 — 20.9 — 10.2
の知識が社会に出て役立つと思う
- F. 楽しい大学生活を送れることが、 25.4 — 30.6 — 26.0 — 6.8 — 7.5 — 3.7
一生のよい思い出になると思う
- G. 勉強はともかく、4年間のんびり 4.8 — 10.7 — 18.1 — 19.5 — 24.3 — 22.6
すごせることだけで十分だと思う
- H. 今の大学のスクールカラーが身に 4.3 — 10.6 — 23.2 — 21.5 — 24.2 — 16.2
ついて、自分の人格形成にプラスになると思う

15 最後に、もう一度、あなたのことをお尋ねします。

A. 現在、アルバイトをしていますか。

(1) 定期的なアルバイトをしていますか。

1. している 52.5 収入は月額 万円ぐらい
2. していない 47.5

1万円.....	9.2
2万円.....	29.5
3万円.....	26.6
4万円.....	11.8
5万円.....	10.1
6万円.....	4.9
7万円.....	1.6
8万円.....	1.2
9万円.....	0.5
10万円以上...	4.6

(2) 夏休みや歳末などに、臨時のアルバイトをしていますか。

1. している 58.6 収入は 万円ぐらい
2. していない 41.4

1万円.....	2.4
2万円.....	7.5
3万円.....	8.0
4万円.....	9.0
5万円.....	16.2
6万円.....	8.4
7万円.....	5.1
8万円.....	7.1
9万円.....	1.5
10万円.....	19.6
11~15万円...	6.9
16~20万円...	3.6
21万円以上...	4.7

調査票見本・集計表

単位・パーセント

B. 1ヵ月、だいたい、どれくらいで生活していますか。
 <(1)か(2)のどちらかに記入してください。>

(1) 自宅から通っている人

平均 万円

その内、アルバイト () 万円

0円	64.9
1万円	8.6
2万円	10.9
3万円	7.9
4万円	2.8
5万円	1.2
6万円	0.9
7万円以上	2.8
M=2.2	

(2) 自宅から通っていない人

平均 万円

その内、アルバイト () 万円
 仕送り () 万円

0円	76.2
1万円	5.2
2万円	6.8
3万円	4.8
4万円	2.1
5万円	1.8
6万円以上	3.1
M=1.5	

1万円	10.2
2万円	27.9
3万円	26.3
4万円	13.8
5万円	9.3
6万円	4.3
7万円	1.8
8万円	1.2
9万円以上	5.2
M=5.0	
2万円	0.5
3万円	1.5
4万円	4.8
5万円	11.3
6万円	14.6
7万円	19.5
8万円	20.5
9万円	6.5
10万円	11.4
11万円	1.9
12万円	2.0
13万円	1.1
14万円以上	4.4
M=8.5	
0円	54.2
1万円	0.3
2万円	2.0
3万円	3.0
4万円	4.4
5万円	7.7
6万円	7.5
7万円	6.9
8万円	7.1
9万円	1.3
10万円	2.7
11万円以上	2.9
M=3.6	

C. 現在、決まった恋人がいますか。

1. いる 29.4 2. いない 70.6

D. Cで、1.いるとお答えの方だけ、ご記入ください。

(1) その人とのつきあいは () 年くらい前から

- (2) その人は……▶
- | | |
|-------------|------|
| 1. 同じ大学 | 44.8 |
| 2. 同じ高校の卒業生 | 17.0 |
| 3. その他 | 38.2 |

1年	59.0
2年	23.3
3年	11.1
4年	3.3
5年	1.4
6年以上	1.9

16 あなたは、いまの若者としては、どんなタイプですか。

	そと そう も 思 う	そ や 思 う	思 あ ま り な い そ う	思 ぜ ん ぜ ん な い そ う
A. 私は、いまのヤングの中ではナウなルックス をもっている (カッコイイ) ほうだと思う	2.1	16.8	45.3	35.8
B. 運動神経はかなりいいほうに入るだろう	10.0	31.6	37.2	21.2
C. 体力ならたいていの人には負けない自信がある	10.4	30.6	38.4	20.6

	とても 思う	やや 思う	あまり 思わない	ぜんぜん 思わない
D. ヤングの中でも異性にもてるほうだろう……	1.9	26.2	48.3	23.6
E. ユーモアのセンスは、ちょっとしたものだと思 う	11.7	44.7	34.0	9.6
F. ヤングの間では、どんな場に出てもリーダー 的な役割がつかまると思う	4.7	31.8	47.6	15.9
G. じっくりつきあってもらえれば、きっと自分 のよさがわかってもらえて、他人から信頼し てもらえると思う	32.4	53.8	11.7	2.1
H. どんな逆境（不幸）にあっても、それをはね かえすだけのバイタリティを持っていると思う	23.5	45.3	26.8	4.4
I. 心のやさしさや誠実さは、人一倍持っていると思 う	32.8	45.8	18.5	2.9
J. 何事につけ、いつも他人の2倍は努力してい ると思う	5.2	22.9	52.8	19.1
K. 私の家は、まあ金持ち（普通よりかなり豊か な）のほうに入るだろう	3.8	28.1	41.8	26.3
L. 私の父は、社会的には成功者の部に入るだろう	13.0	38.3	33.3	15.4
M. いとこや親せき（叔父や叔母）には、けっこ う一流の学校を出た人が多い	12.8	23.8	37.9	25.5
N. 親せきは、みな善良で、お互いに仲よく行き 来している	20.9	44.9	26.5	7.7
O. 友だちをたくさん持っているほうだと思う……	25.3	43.7	26.5	4.5
P. 大学生としては、読書をしているほうだと思う……	15.7	29.1	37.1	18.1

- 17 あなたのお父さん（または、それに代わる人）は、どのような職業についていますか。あてはまる番号にひとつ〇をつけてください。

1. 専門的・技術的な仕事（医師、弁護士、大学教授など）	10.3
2. 管理的な仕事（役所や会社で課長以上の役職についている人）	33.3
3. 事務的な仕事（役所や会社、商店などで事務的な仕事をしている人）	12.1
4. 販売関係の仕事（店員、セールスマン、外交職員など）	3.2
5. 農林漁業	4.7
6. 自営商工業（小売店主や工場経営者など）	11.8
7. 運輸・通信従業者（運転手、郵便配達、鉄道関係など）	4.7
8. 技術工、労務関係の仕事（工場で生産労働をしている人）	11.2
9. サービス関係の仕事（理髪師、ホテルや旅館につとめている人）	2.3
10. その他（※具体的に書いてください。）	6.4

- 18 あなたのご両親が、最後に卒業された学校はどれですか。お父さん、お母さんのそれぞれについて、あてはまる番号を選んで、下の の中に記入してください。

		父	母
1.	旧制 尋常小学校、高等小学校	19.8	23.2
	新制 中学校		
2.	旧制 中学校、師範学校、高等女学校、実業学校	38.5	56.7
	新制 高等学校		
3.	短期大学、各種学校	3.2	9.8
4.	旧制 高等学校、高等師範学校、高等専門学校	36.2	9.8
	大学、大学院		
5. その他	お父さん <input type="checkbox"/>	0.8	0.1
6. 父(母)はいない	お母さん <input type="checkbox"/>	1.5	0.4

- 19 あなたが、仮りに一流企業につとめたとしたら、停年までに、どれくらいの地位につけるとお考えですか。

1. 係長	2. 課長	3. 部長	4. 重役	5. 社長
19.2	34.3	35.5	9.0	2.0

20 あなたは、いままでしあわせでしたか。

	しあ あ わ せ	しあ な り	しあ や あ わ せ	ふし あ わ せ	ふし な り	ふし あ わ せ
A. 小学高学年の頃	24.4	36.1	27.3	8.5	2.9	0.8
B. 中学生の頃	22.3	38.2	27.4	7.0	3.8	1.3
C. 高校1年の頃	17.6	35.7	31.7	9.4	3.5	2.1
D. 高校2年の頃	20.2	36.0	28.6	10.0	3.6	1.6
E. 高校3年の頃	18.8	33.0	30.4	11.8	3.6	2.4
F. 現在	22.3	42.5	25.9	6.1	1.6	1.6

21 では、これから先は、どうなるとお思いますか。

	しあ あ わ せ	しあ な り	しあ や あ わ せ	ふし あ わ せ	ふし な り	ふし あ わ せ
A. 大学を卒業する頃	15.3	36.7	35.6	9.4	2.2	0.8
B. 結婚し、子どもが生まれる頃	35.6	38.7	20.7	3.3	0.9	0.8
C. 40歳ぐらの頃	18.1	37.4	35.0	7.2	1.5	0.8
D. 年をとった頃	18.6	28.8	36.1	9.6	3.9	3.0

22 大学を卒業する時、希望どおりの勤め先があるとお思いますか。

きつと あ る	たぶん あ る	たぶん 無 理	ぜったい 無 理
18.9	50.4	27.7	3.0

23 結婚の形はどうなるとお思いますか。

A. 結婚までの形	1. 見合い 26.7	2. 恋愛 73.3	0人…… 5.7 1人…… 5.5 2人…… 59.9 3人…… 25.5 4人…… 1.9 5人…… 1.1 6人…… 0.2 7人…… 0.1 9人…… 0.1
B. 子どもの数	() 人くらい		
C. 生活のスタイル	1. 夫唱婦随型で、夫がしっかりリードしている夫婦 29.7 2. 夫婦ともに互いに頼りあっている夫婦 41.0 3. どちらかというとき妻の方がしっかりしている夫婦 6.3 4. それぞれが独立した生き方を尊重している夫婦 23.0		

(ご協力、どうもありがとうございました。)